

女川町人材留学プログラム報告（2月17日～18日実施）

経済同友会では、東日本大震災の発災直後から震災復興プロジェクト・チームを立ち上げ、復興に向けた意見発信および具体的な支援を続けてきた。宮城県の女川町人材留学プログラムもその一つで、2013年から毎年実施している。これまで女川町の民間企業や役場の職員など延べ93人を、本会の会員所属企業が受け入れ、研修を行ってきた。

今年は同町内の水産加工業の代表ら7人が参加した。まず初日の2月17日に東京・西新橋のキッコマン東京本社で同社の企業概要や経営理念、グローバル展開の歴史や戦略、社会課題への対応などについて説明があった。その後、人事制度や人事考課などの仕組み、モチベーション向上や組織力を引き出す取り組みや課題などの講義を受けた。翌18日は埼玉県東武東上線の工場視察を行い、工場の概要についての説明を受けた後、製品完成に至るまでの製造工程などを見学した。また、ロボットなどの自動化の取り組みや課題について意見交換を行った。

こうしたプログラムを継続して行っているのは、2011年3月11日の被災から9年近くが経過し、被災地では復興に向けた着実な歩みが見られる中でも、地元企業や自治体では、人材育成や組

織運営などの課題を抱えているからだ。

研修・視察は参加者、派遣元企業はもとより、女川町役場などからも高い評価を得ており、本会としても被災地支援に貢献できていると考えている。



キッコマン東京本社での研修



埼玉キッコマン株式会社の工場での研修

■ 研修プログラム

2月17日(月)	2月18日(火)
経済同友会で全体オリエンテーション キッコマン東京本社において研修 経営理念や醤油醸造の歴史など説明 組織力向上に向けた取り組みや課題など説明	埼玉キッコマン株式会社の工場において研修 会社紹介、工場・製造工程視察 製品試食および質疑応答

No.826 March 2020 経済同友会 3

CONTENTS

特集

中国委員会報告書
日本は中国から何を学び、
どのように向き合うべきか 03

Close-up 提言

規制・制度改革委員会【提言】
間下直晃 委員長
シェアリング・エコノミーの進展によって
日本版ライドシェアを実現 08

Doyukai Report

経済同友会・同友クラブ共催 新春会員懇談会
2020年オリンピック・パラリンピック
東京大会の成功に向けて
橋本聖子氏
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 10

2019年度 第7回「創発の会」を開催
櫻田謙悟代表幹事が講演 12

Seminar

第1332回 会員セミナー
社外取締役の役割と
コーポレートガバナンスの今後の課題
江川雅子氏 一橋大学大学院経営管理研究科 教授 15

Column

私の一文字 遠藤 信博
「『強い意志』と『柔らかな心』」 02
リレートーク 坂下 智保
「最新のキーワード『DX』と経営体制と
企業文化について思うこと」 14

コペンハーゲン通信
「グリーンランドは売り物ではないが
ビジネス機会は歓迎する」 16

私の思い出写真館 川本 明
「世界が広がったとき」 19

新入会員紹介
女川町人材留学プログラム報告
(2月17日～18日実施) 18